

令和4年度宮崎市民文化ホール自主事業「第9回避難訓練コンサート」

令和5年2月23日(木・祝) 開場17:30 開演18:00 終演19:30

参加者 一般の方 300名、出演者 80名、関係者 30名。

2月23日(木・祝)に「第9回避難訓練コンサート」を実施しました。

南海トラフ地震への備えもさげられる中、防災の重要性も改めて高まってまいりました。

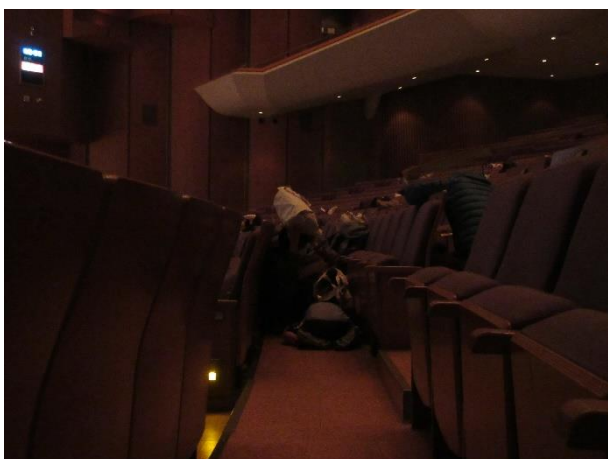
このコンサートは、公演中に震度6強の地震が発生し、その後地震による火災が発生したという想定で、安全確認と避難経路を確保したのち、お客様も一緒に緊急避難するという内容で避難訓練を実施しました!



▲プログラムと一緒に宮崎県が発行している防災チェックシートなどの災害時ガイドブックも配布しました。

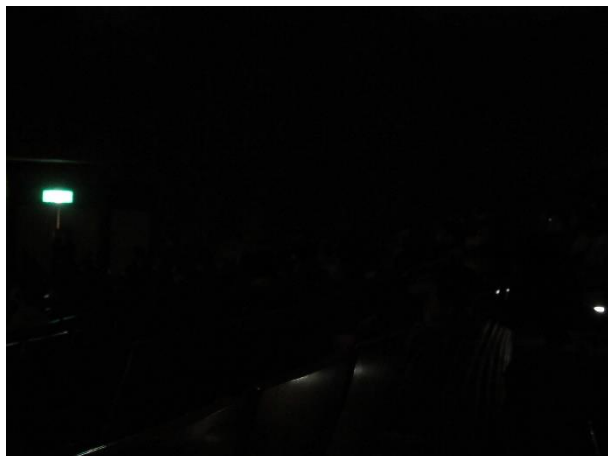
司会の西田裕子さんがコンサートの説明をしたのち、ミハラ・ダンススクールの皆さんによるダンスが始まり、プログラムが進んだところで緊急地震速報がなり、地震が発生!

と同時にホールが暗くなり、大きい音や照明効果で地震の状況を演出しました。



▲お客様は頭を守りながら座席と座席の間に小さく身を隠して安全を確保しました。

「ただいま状況を確認しています。安全が確認されるまでその場から動かないでください。」とアナウンスがありました。



▲暗くなった状態のホールの中。非常灯と足元灯のみ光っています。

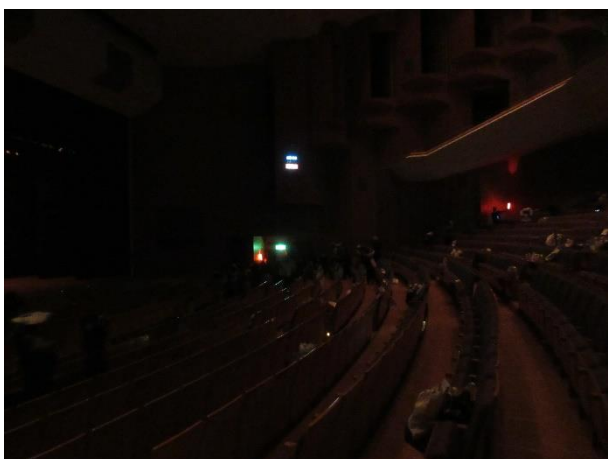
地震が落ち着いたと思ったら、火災が発生！

ホール内では、「今、火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、今しばらくお席を立たずにお待ちください。」とアナウンスされました。

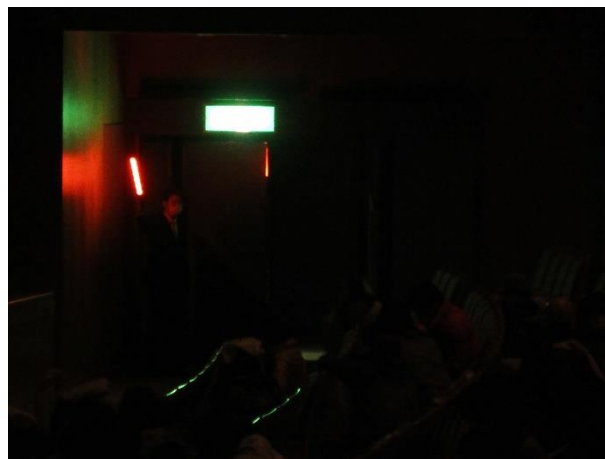


▲事務所で職員が警報盤で火災現場を確認し、消火器を持って現場に急行！

火災場所の確認後、「1階給湯室で火災が発生しました。係員の誘導に従い、近くの非常口から落ち着いて避難してください。避難場所は正面玄関前ふれあい広場です。危険ですので、エレベーターは使用しないでください。」と避難誘導のアナウンスが流れ、主催者が誘導灯を回しながら「こちらから避難してください」と誘導しました。

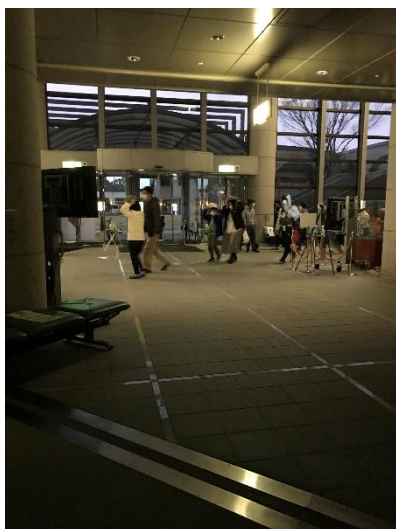


▲赤い光の誘導灯と非常灯と足元灯のみの光で足元を確認しながらの避難になりました。



▲主催者が誘導灯を回しながら誘導している様子

慌てず走らず、迅速にそれぞれの出口から避難場所へ集まりエントランスへ避難し（雨天のため）、全員が避難完了！



その後、中部出張所の消防職員の方の講評をいただき、コンサートが再開!



ミハラ・ダンススクールの皆さん、TMバトンの皆さん、宮崎商業高等学校ダンス部の皆さんのかわいらしく、躍動感あるダンスを鑑賞し、コンサートは終了!



当ホールでは多くの催物が開催されておりますが、コンサート等はそのほとんどが夜間に行われている現状を踏まえ、今回は初めて「夜公演」に地震と火災が起きた時の避難訓練を計画しました。職員も、事務所職員役、主催者役、お客様役、撮影係役などに分かれました。訓練とはいえ緊張感があり、危機管理への意識も改めて気を引き締める場となりました。

今回、職員から出た意見や気づいた点、また、お客様からいただいたアンケートのご感想やご意見は、今後のホール運営の参考にさせていただきたいと存じます。

ご来場いただきました皆さま、出演していただいた皆さま、ご協力いただきました関係各所の皆さま、誠にありがとうございました。